

令和元年度 第3回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

令和元年7月26日（金）午前9時30分～11時25分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、西村正雄、長谷 進、山本慎介、西村隆義、八百谷恭徳、
上紙悦子、竹本真奈美、平井育子、谷本由美子、福山裕正、加賀田三郎
以上12名（敬称略）

関係課 危機管理課 太田係長、益田主事

事務局 片山用瀬町総合支所長、西尾副支所長、岡本産業建設課長、
谷口市民福祉課長、堀場地域振興課課長補佐

傍聴者 なし

【次第】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題・報告事項等

都合により、（1）と（2）を入れ替え。

（2）防災無線デジタル化事業について

（危機管理課）

資料により説明

（委員1）

デジタル方式による屋外スピーカーの建柱箇所はどのようになるか。

（担当課）

現在、用瀬町内には3箇所屋外スピーカーを設置しています。デジタル方式による屋外スピーカーについては設計中であり基数は確定していませんが、緊急時等住民のみなさまへ情報伝達ができるよう設計しています。

(委員 2)

屋外スピーカーの音達範囲はどのくらいか。

(担当課)

現在のスピーカーはトランペット型スピーカーで約200メートル程度の距離まで一定の基準の音声が届くものですが、デジタル方式の新しく設置する高性能スピーカーは約500メートル先まで音声が届くもので、スピーカー直下の騒音を抑えられる等性能がより優れたものとなります。

(委員 1)

自主防災会長等の宅に設置されるデジタル方式の戸別受信機については、負担金が生じるか。

(担当課)

機器は鳥取市の費用負担ですが、3年以内で移設する等の状況によって、移設費用の負担が集落等に生じる場合があります。

(委員 3)

用瀬町地域の集落形態に配慮した設置となるようお願いしたい。

(委員 4)

避難所となる集会所や公民館にも戸別受信機を設置してほしい。

(担当課)

小学校等の避難所となる施設には設置します。

(委員 4)

防災ラジオはどのようなものか。

(担当課)

F M鳥取の電波を利用し緊急情報等を発信するもので、緊急の放送時は自動的に起動し、最大音量で情報を提供することができます。

(委員 5)

用瀬地域はF M鳥取が受信できない所があるので、ラジオを購入しても情報が受信できないのではないか。

(担当課)

現在、中継局の整備を進めていますので、受信可能なエリアが広がると考えています。

(会長)

資料によると9月以降に各自治会長(区長)に事前説明をするとあるが、8月に用瀬町自治会長会を開催するので、この会においても説明を行ってほしい。

(担当課)

区長の皆さまへのお願い事項もありますので、ご説明させていただきます。

(1) 新市域振興ビジョン推進計画について

(事務局)

資料により説明

(委員3)

旧保育園跡の利活用に関する進捗状況はどのようなか。

(事務局等)

旧大村保育園については、検討委員会でアンケート調査を行っておられ、今後用途等が絞られてくれば、関係課等との調整を行います。

旧用瀬保育園については、総合支所耐震補強工事の間仮事務所として利用しますので、事業終了後の利活用になります。現段階で具体的な協議は行っていません。

旧社保育園については、利活用委員会を設置され、アンケート調査を行う等意見集約をされているところと伺っています。

修繕等については、利活用の内容により、行政財産例えば地区公民館として利用する場合などは、市において実施することになるかと思えます。

(委員3)

旧大村保育園敷地内に消防用車庫を移転するような話を聞いている。地域に利活用の意見を求めているのであれば、そのような情報も提供してほしい。

(委員1)

先日、旧保育園敷地に工事関係者と思われる者が入っていた。住民から問い合わせがあるので、地区公民館に対し立ち入り等の情報を入れることはできないか。

(事務局)

工事関係者と思しき者が立ち入っていた件については、本庁関係課等による現地確認かと思われます。また、利用可能な備品や什器類を、他の保育園職員が順番に取りに来ているといったこともあるようです。情報提供できる場合は行いたいと思います。

(会長)

旧保育園敷地内の草刈り等の管理をしてほしい。

(事務局)

最低限の維持管理の範囲になるかと思えますが、対応したいと思えます。

(委員2)

空き家対策におけるマッチング支援では、入居希望者と集落とのマッチングを

行ってほしい。

(事務局)

支所等での対応は空き家の紹介までとなります。

(委員 3)

空き家情報は2年程前に調査された台帳が基となっていると聞いているが、その後精査されていないのではないか。

(事務局)

以前は調査のための職員が配置され情報収集していましたが、現在、最新の空き家の状況把握は難しいところです。

(委員 6)

さとやまキャンパス設置について、どのように進めるか。

(事務局)

鳥取環境大学や鳥取大学などに働きかけ、学生たちのフィールドワークができないかと考えています。

(委員 1)

八頭町では廃校を利用した宿泊施設がオープンするなどの話題が上がって、観光客も増えているようだ。用瀬町の近隣であり、コラボすることはできないか。

(事務局)

大きな集客が期待できるものであり、タイアップできないかとは思っています。また、長谷川邸では定期的にインバウンドの受け入れがあると伺っていますし、用瀬町内で宿泊も可能であるといったことも、今後用瀬の集客につながればと期待しています。

(会長)

民俗文化の保存について、三番叟の継承に関する動きをお知らせいただきたい。

(事務局)

江波の三番叟の後継者不足について相談を受け、保存会のメンバーと小学校に出向き、チラシ配布し参加募集のお願いしました。結果としては、今回参加希望者はありませんでしたが、すぐに解決するものではありませんので、今後もこのような募集活動等を地道に進めていきたいと考えます。

また、三番叟を観賞することで参加希望者も出てくるのではないかと考えられますので、そのような機会を作れないかといったことも協議したいと思います。

(委員 3)

先にもやまびこ館で開催された「用瀬展」は好評だった。その資料データがあると聞いている。民俗文化に親しむ手段として、例えば図書館等で見るようなことはできないか。

(事務局)

貴重な資料等であり、活用等考えていきたいと思えます。

(3) その他

(事務局)

用瀬町総合支所耐震補強工事等について

補正予算が議決されたので、今後のスケジュール等の内容について説明。

(委員 7)

流しびなの館の表側の縁側は雨ざらしで腐食し修理が必要となっている。また、ひいな橋の欄干も色あせて、観光施設として放置できない。補修についての考えはどうか。

(事務局)

流しびなの館については、本年度観光・ジオパーク推進課において修繕の予算措置がされており、9月末の工期ですでに発注されています。併せて、表側と下手側の雨どいの補修も行われます。

橋の修繕は緊急度の高いものから行っています。ひいな橋は平成29年度に橋梁点検が行われており、高欄について「防食機能に一部劣化あり、健全度は4段階中上から2ランク目の判定」となっており、早期の対応にはならず、順番待ちの状況です。

(委員 7)

流しびな行事の際、文化庁が視察に来ていたようだが、その後の情報はないか。

(事務局)

国の指定文化財に向けて、来年県が調査を行うようです。指定には段階があり数年はかかるものと伺っています。

4 各課事務連絡等

(事務局)

支所管内行事予定、イベント案内、チラシ配布

5 次回日程について

今回は、8月20日(火)午後2時から用瀬町民会館で開催予定。

6 閉 会